

さわぞい 埼玉

第24回 埼玉・タイ王国友好協会 総会を 書面開催

7月に開催を予定していた第24回総会・講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、残念ながら中止といたしました。総会で審議を予定していた左記の2議案に関しては、役員会による書面決議といたしました。その結果、すべての議案について、会員の皆様からご提出いただきました「同意書」の過半数の同意をもって承認されました。

2021年度事業報告では、広報誌におけるQRコードを利用した活動内容の紹介や奨学支援生への奨学支援資金授与について報告いたしました。

また、2022年度事業計画では、日タイ修好135周年記念事業の支援として、チェンライ県への教育関連施設の建設事業について、引き続き検討していくことが承認されました。



○チェンライ市街 ●メーヤオ地区



▲奨学支援生の教育実習の授業を受ける生徒たち



▲奨学支援生が参加した日本まつりでの記念写真

会長挨拶



会長
原 敏成

会員の皆様におかれましては、日頃より当協会の活動にご理解をいただき、多大なるご協力をいただいておりますこと、深く御礼申し上げます。

今年度の当協会の総会・講演会は、昨年一年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、残念ながら中止とさせていただきます。総会で審議を予定していただきました議案に関しては、役員会による書面決議とし、会員の皆様からご提出いただきました「同意書」の過半数の同意をもって可決となりました。3年にわたり総会が書面開催となりましたが、来年度はぜひ皆さまと直接お会いすることができ、機会を持てることを願っております。

新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に影響を及ぼし始めてから2年以上が経過していますが、現在においても様々な制約を受ける状況に置かれており、当協会においても思うように活動が進められず、もどかしい思いをしております。日タイ修好135周年記念事業についても、新型コロナウイルスの影響で計画が遅れておりますが、徐々に方針が決まってきましたので、引き続きしっかりと進めて意義のある事業としていく所存です。

まだまだ先が見通せない状況ではございますが、今後とも支援のニーズ調査を実施しながら、当協会として何ができるか検討し、実行してまいります。

最後に、皆様方からの格別のご高配に心より感謝申し上げますとともに、埼玉県とタイ王国の友好関係が今後ますます進展しますよう、あらためてご支援、ご協力を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

- 【審議事項】
- 第1号議案 2021年度事業報告及び収支報告
- 第2号議案 2022年度事業計画(案) 及び収支予算(案)

日タイ修好135周年記念事業

始動!

日タイ修好135周年事業として、チェンライ県メーヤオ地区にある「パクワン・ウィタヤー幼小中校」(以後、パクワン幼小中校)への教育関連施設寄贈に着手しました。

本年度の事業計画では、チェンライ県の支援先候補の抽出を行うこととしておりましたが、当協会現地会員の堀田様の多大なるご尽力と現地関係機関の調査協力により年度半ばで支援先候補の抽出を行うことが出来ました。現地関係機関から早期着工を熱望する声がありましたので、臨時役員会の承認をいただきパクワン幼小中校を支援対象に本年度事業で工事着手する運びとなりました。10月27日に当協会の原会長とパクワン幼小中校長パーリー・スラチェート氏との間でオンライン面談を行い、6つの施設の改修事業に関する覚書の締結を行いましたので、年内の着工を目指しております。

(これまでの経緯)

今年の8月にチェンマイ総領事館を訪問し、当協会の活動実績や135周年記念事業の構想について説明の機会をいただきました。先方からは当協会の活動へのお礼の言葉とともに、本記念事業への期待の声をいただきました。その後9月上旬にチェンライ県教育局との打合せにて、メーヤオ地区にある学校を何校かお伝えしたところ、教育局ご担当者から支援先として強い要望があったのがパクワン幼小中校で、その日のうちに現地視察にお連れいただきました。数年前に調査した際は学校までの道路状況がかなり悪かったのですが、この数年で道路は驚くほどに改善されており、訪問団視察の面でも問題ないと判断いたしました。



▲現地教育局担当者との打合せの様子



▲校舎全景 約9,000坪の敷地に教室4棟、食堂、トイレ男女、教師宿舍5棟、寄宿舎3棟を有する

立地	チェンライ市内から36km (コク川沿い)
創立	1981年
生徒数	302名 (幼稚園: 38名、小学校: 203名、中学校: 61名) ※うち、寮で寄宿している生徒は122名で増加中。
教師数	30名

パクワン・ウィタヤー幼小中校



▲手狭な調理場・器具置き場で、安全・衛生面が不安

した。

その後、現地からの報告や学校関係者とのオンライン会議で、生徒数の多さや施設の老朽化等の状況から、パクワン幼小中学校が当協会が支援する候補としてふさわしいとの結論に至りました。

支援の対象とする施設は、これまで校舎や食堂、保健室といった建物を寄贈してまいりましたが、今回は先方の要望により、校内の調理場やトイレ、洗濯乾燥場、屋外シャワー室といった複数の施設の改修支援という方向で検討しております。これらの施設の老朽化や生徒数増加により手狭になっている現状を鑑み、SDGsにも掲げられている健康・衛生環境の確保の面からも非常に意義のある取り組みであると考えました。また、新型コロナウイルスの影響で進められていなかったものの、本事業が日タイ修好135周年記念であること、更には先方が当協会のスピード感のある支援を熱望していることから、今回は臨時で役員会書面決議を採り、今年度の支援事業として実施をすることとなりました。

皆様のご理解、引き続きのご協力を何卒お願いいたします。



▲屋外シャワー室は小学生向けの小さくて低い小屋。中学生が増えた現状では改善が必要



▲屋外トイレは老朽化が酷く不衛生なため、改善が必要



▲生徒数の増加で手狭となった洗濯乾燥場

学生への奨学支援資金授与報告

当協会では2016年より学生への奨学支援資金授与を行っており、今年で7期目を迎えます。7月の総会で事業計画として承認をいただいたとおり、第1期支援生徒2名、第2期支援生徒2名、第3期支援生徒2名、第4期支援生徒2名、第5期支援生徒2名、第6期支援生徒2名を対象とし、計12名へ奨学支援資金授与を実施いたしました。

2022年8月、当協会会員で現地滞在者である堀田様に生徒が在籍する各校を訪問していただき、各校長や職員らの立ち会いのもと、支援決定通知書および奨学支援資金をお渡しいただきました。以下、現地リポートから抜粋して生徒の方の近況をお伝えいたします。

第1期生支援生徒のシリヤー・ノイムンさん、ノップラダー・パヤポンさんは今年でラチャパット教育大学の4年生となり、来年卒業を控えています。ノップラダーさんは学校に通うのも難しいほどの山奥に住んでいましたが、当協会の奨学支援資金を活用し、高校から大学まで勉学に励んできました。卒業後は教師として就職をしたいと言っているとのこと。

チャリントラット高等専門学校へ通う第4期生のナットタン・ヨート力才君は4年生となりました。新型コロナウイルスに感染してしまい隔離生活を送ったこともあり、非常に心細い思いをしていたようです。面対して奨学金を渡したところ、感謝の言葉に際強い思いが感じられました。堀田様からは生徒の皆さんはコロナ禍で不安も多いなか、一生懸命勉学に励んでいるとの報告がありました。当協会としても、将来生徒の皆さんがタイ北部地域で教育者として立派に成長してくれることを期待しています。



▲ノップラダーさん



▲ナットタン君



▲一番左：アンパンさん、右から二番目：シリヤーさん、一番右：チュトラットさん

タイ王国大使が川越まつりをご来訪

10月15日(土)に開催された川越まつりにて、駐日タイ王国特命全權大使 シントン・ラーピセートパン閣下が川越市長を表敬訪問されました。その際、当協会の原会長も川越市より招待を受け出席しました。当日はシントン・ラーピセートパン閣下ご夫妻、川合市長はじめ川越市役所の皆様、埼玉在住タイ人クラブの皆様、当協会原会長が出席のもとご歓談をされました。その後、大使閣下ご夫妻と大使館の皆様は川越まつりの様子をご視察されたこととです。



▲ご歓談後の集合写真 (川越市提供)

タイ王国ホストタウン企画川越市から情報発信中!

川越市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、タイ王国のホストタウンになりました。大会前から大会開催中まで、タイ王国と様々な文化・スポーツ交流を行ってまいりましたが、大会後もホストタウンとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー(遺産)を活かしていきます。

この度、埼玉県在住タイ人クラブの皆様と協力して、タイの文化やグルメを紹介し、親しんでいただくために作成された動画がYouTubeにアップされています。今後も引き続き情報発信をしていくことでしたので、ぜひ楽しみにお待ちください。

タイ王国ホストタウン企画「タイの文化を学びタイ!」動画はこちら↓から

動画 & 民族衣装編



▲川越市ウェブサイトより

タイフェスティバル2022がオンラインにて開催されました!

新型コロナウイルスの感染拡大以前はタイ王国大使館主催のタイフェスティバルが毎年東京・代々木公園で開催されていましたが、今年はT-POPをテーマに初のオンライン開催となりました。

5月15日(日)に生配信された「T-Pop Stage Show: タイフェスティバルin Japan 2022 スペシャルエピソード」ではタイの各音楽事務所を代表する8組の人気アーティストらがステージ出演し、大きな話題を呼びました。当日のコンサートの模様はタイ王国大使館のYouTubeチャンネルから現在もご覧いただけますので、この機会にぜひタイの最新音楽に触れてみてはいかがでしょうか。



▲在東京タイ王国大使館ウェブサイトより

ダルニー奨学金 本年度の授与者

本年度の新規授与者は、次の3名です(年間1人14,400円で3年間)。
ダルニー奨学金は、経済的貧困のため、教育の機会に恵まれないタイラオス・ベトナムなどの子どもたちの中学生就学を支援する国際教育里親システムです。



タナーコーン
ウィチャチャーチャイ
13歳



ウィチャヤーダー
スイスライ
13歳



パタリヤー
インティセーン
12歳

埼玉・タイ王国友好協会ウェブサイト

<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)

編集後記

新型コロナウイルスの影響でタイを訪問することができませんが、Web会議等も活用して引き続き現地との情報交換を進めていきます。

次回号では、改修された施設や利用した子どもたちの声をお届けします。

(O)

(T)